



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月28日

上場会社名 兼松エレクトロニクス株式会社

上場取引所 東

コード番号 8096 URL <https://www.kel.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 渡辺 亮

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 岡崎 恭弘

TEL 03-5250-6823

四半期報告書提出予定日 2022年11月4日

配当支払開始予定日

2022年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	39,791	16.8	6,702	10.3	6,735	9.9	4,552	8.7
2022年3月期第2四半期	34,064	8.2	6,074	21.3	6,128	19.3	4,187	20.4

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 4,636百万円 (11.7%) 2022年3月期第2四半期 4,150百万円 (18.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	159.10	
2022年3月期第2四半期	146.36	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	89,458	64,305	71.8
2022年3月期	82,446	61,928	75.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 64,262百万円 2022年3月期 61,885百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		75.00		80.00	155.00
2023年3月期		80.00			
2023年3月期(予想)				80.00	160.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,000	7.9	13,400	5.6	13,500	5.6	9,100	3.6	318.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	28,633,952 株	2022年3月期	28,633,952 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	13,344 株	2022年3月期	20,992 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	28,616,679 株	2022年3月期2Q	28,608,752 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、経済社会活動の正常化が進む中、各種政策の効果もあって持ち直しの動きが続いている一方で、ウクライナ紛争の長期化や中国における経済活動の抑制などの国際情勢不安に加え、米国における政策金利の大幅な引き上げによる急激な円安の進行や資源価格の上昇も重なり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

国内IT業界におきましては、半導体をはじめとする部材不足やサプライチェーンの混乱に伴う供給面の制約に加え、急激な円安の進行による調達コストへの影響などにより不透明感が増す一方で、コロナ禍におけるニューノーマルの定着に伴い、ライフスタイルやワークスタイルの変化による企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)は一層加速しました。さらに、ランサムウェアなど高度化・多様化したサイバー攻撃の急増に伴うセキュリティ対策需要に加え、人手不足を背景とした業務効率化や自動化のための戦略的なIT投資の重要性は高まり続けています。

このような環境の中、当社グループは引き続き、培ってきた技術力をベースとしたインフラ構築ビジネスの展開に加え、ビジネスの基盤である「仮想化」「セキュリティ」などのソリューションビジネスおよびお客様のリモートワーク環境の整備などに注力してまいりました。

具体的には、働き方改革および新型コロナウイルス感染症対策の一環として堅調な仮想デスクトップ(VDI)環境の構築やゼロトラストネットワーク時代に沿ったセキュリティソリューションに加え、3K(スリーケー)※を中心としたサービスビジネスの更なる拡販を図りました。また、当社の中長期的な企業価値の向上に向け、セキュリティ事業領域のさらなる拡大・深耕を図ることを目的に、2022年8月に株式会社テリロジーと資本業務提携契約を締結いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、397億9千1百万円、前年同期比57億2千7百万円(前年同期比16.8%増)の増収となりました。営業利益は、67億2百万円となり、前年同期比6億2千7百万円(前年同期比10.3%増)の増益、経常利益は、67億3千5百万円となり、前年同期比6億6百万円(前年同期比9.9%増)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、45億5千2百万円となり、前年同期比3億6千5百万円(前年同期比8.7%増)の増益となりました。

※ 3K(スリーケー)：「KEL Briefing Center(KBC)」、「KEL Custom Cloud(KCC)」、「KEL Managed Service(KMS)」から成るサービスビジネス群

#### セグメントの状況

##### (システム事業)

システム事業の売上高は、296億8千1百万円となり、製造業向けのサーバー関連事業が堅調に推移したことなどにより、前年同期比55億2千4百万円(前年同期比22.9%増)の増収となりました。

##### (サービス・サポート事業)

サービス・サポート事業の売上高は、101億1千万円となり、製造業向けのクラウドサービス関連の売上が増加したことなどにより、前年同期比2億3百万円(前年同期比2.1%増)の増収となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて8.5%増加し、813億8千9百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が45億1千万円、棚卸資産が19億9百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて8.8%増加し、80億6千8百万円となりました。これは、投資有価証券が5億1千9百万円増加したことなどによります。

### (負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて25.6%増加し、225億6千4百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が53億9千4百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1.4%増加し、25億8千7百万円となりました。これは、資産除去債務が1千7百万円増加したことなどによります。

### (純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べて3.8%増加し、643億5百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益45億5千2百万円の計上および配当金22億8千9百万円の支払いにより、利益剰余金が22億6千3百万円増加したことなどによります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の75.1%から71.8%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、直近の業績等を勘案し、2022年4月28日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2022年10月28日)に公表いたしました「連結業績予想の修正および剰余金の配当(中間配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	49,668,376	49,599,479
受取手形及び売掛金	17,808,143	22,318,542
棚卸資産	3,146,103	5,055,368
その他	4,409,190	4,415,935
流動資産合計	75,031,813	81,389,325
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,089,297	1,093,554
その他(純額)	749,512	772,965
有形固定資産合計	1,838,810	1,866,520
無形固定資産		
その他	758,842	987,158
無形固定資産合計	758,842	987,158
投資その他の資産		
投資有価証券	2,770,787	3,290,585
繰延税金資産	1,035,525	917,123
その他	1,018,745	1,015,119
貸倒引当金	△7,644	△7,644
投資その他の資産合計	4,817,413	5,215,184
固定資産合計	7,415,067	8,068,863
資産合計	82,446,880	89,458,189

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,198,715	13,593,634
未払法人税等	2,576,420	1,927,019
契約負債	3,463,319	3,775,381
賞与引当金	1,235,705	1,130,387
役員賞与引当金	144,200	67,819
その他	2,348,371	2,070,573
流動負債合計	17,966,731	22,564,816
固定負債		
退職給付に係る負債	1,947,931	1,957,802
資産除去債務	585,572	603,253
その他	17,887	26,598
固定負債合計	2,551,390	2,587,655
負債合計	20,518,122	25,152,471
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,031,257	9,031,257
資本剰余金	7,159,524	7,181,969
利益剰余金	44,439,446	46,703,349
自己株式	△20,208	△12,945
株主資本合計	60,610,020	62,903,631
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,179,326	1,294,196
繰延ヘッジ損益	△512	△26,976
為替換算調整勘定	94,998	112,850
退職給付に係る調整累計額	1,222	△21,661
その他の包括利益累計額合計	1,275,035	1,358,409
非支配株主持分	43,702	43,677
純資産合計	61,928,758	64,305,717
負債純資産合計	82,446,880	89,458,189

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	34,064,088	39,791,953
売上原価	23,437,132	28,269,106
売上総利益	10,626,956	11,522,846
販売費及び一般管理費	4,552,161	4,820,636
営業利益	6,074,795	6,702,209
営業外収益		
受取利息	2,755	2,837
受取配当金	13,260	22,055
助成金収入	19,069	1,362
受取立退料	15,649	—
雑収入	4,572	10,027
営業外収益合計	55,306	36,282
営業外費用		
支払利息	0	—
為替差損	333	1,877
雑支出	1,284	1,309
営業外費用合計	1,618	3,186
経常利益	6,128,483	6,735,305
特別利益		
固定資産売却益	871	1,213
ゴルフ会員権売却益	4,417	—
特別利益合計	5,289	1,213
特別損失		
固定資産除却損	2,985	816
投資有価証券売却損	1,113	—
特別損失合計	4,099	816
税金等調整前四半期純利益	6,129,673	6,735,702
法人税、住民税及び事業税	1,924,664	2,086,428
法人税等調整額	21,871	97,894
法人税等合計	1,946,535	2,184,322
四半期純利益	4,183,137	4,551,380
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,025	△1,559
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,187,163	4,552,940



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	4,183,137	4,551,380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,120	114,869
繰延ヘッジ損益	41	△26,464
為替換算調整勘定	1,135	19,387
退職給付に係る調整額	△34,837	△22,884
その他の包括利益合計	△32,539	84,908
四半期包括利益	4,150,597	4,636,288
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,158,163	4,636,313
非支配株主に係る四半期包括利益	△7,565	△24

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,129,673	6,735,702
減価償却費	357,450	335,110
賞与引当金の増減額(△は減少)	△50,082	△105,318
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	32,475	9,823
受取利息及び受取配当金	△16,016	△24,892
支払利息	0	—
固定資産売却損益(△は益)	△871	△1,213
固定資産除却損	2,985	816
ゴルフ会員権売却損益(△は益)	△4,417	—
投資有価証券売却損益(△は益)	1,113	—
売上債権の増減額(△は増加)	△613,129	△4,505,437
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,051,886	△1,908,493
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△142,685	△320,593
仕入債務の増減額(△は減少)	684,111	5,390,491
その他の流動負債の増減額(△は減少)	89,839	△25,467
その他	△118,065	△90,456
小計	5,300,496	5,490,071
利息及び配当金の受取額	16,010	24,884
利息の支払額	△0	—
和解金の受取額	—	180,000
法人税等の支払額	△1,929,527	△2,729,840
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,386,979</b>	<b>2,965,115</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△480,209	△354,232
投資有価証券の売却による収入	1,136	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△213,483	△546,229
有形及び無形固定資産の売却による収入	871	1,634
差入保証金の差入による支出	△82,129	△3,225
差入保証金の回収による収入	12,071	151,411
資産除去債務の履行による支出	△13,024	△13,870
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△9,803	5,000
その他	△975	△345
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△785,545</b>	<b>△759,856</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△2,002,413	△2,289,036
その他	△861	△207
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,003,275</b>	<b>△2,289,244</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,431	15,089
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	601,589	△68,896
現金及び現金同等物の期首残高	46,877,658	49,668,376
現金及び現金同等物の四半期末残高	47,479,247	49,599,479

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	システム事業 (千円)	サービス・ サポート事業 (千円)	計 (千円)
売上高			
外部顧客への売上高	24,156,480	9,907,607	34,064,088
セグメント間の内部売上高 又は振替高	74,747	163,293	238,041
計	24,231,228	10,070,901	34,302,130
セグメント利益	3,922,693	2,089,191	6,011,885

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

利 益	金 額 (千円)
報告セグメント計	6,011,885
セグメント間取引消去	62,910
四半期連結損益計算書の営業利益	6,074,795

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	システム事業 (千円)	サービス・ サポート事業 (千円)	計 (千円)
売上高			
外部顧客への売上高	29,681,077	10,110,876	39,791,953
セグメント間の内部売上高 又は振替高	27,824	182,480	210,305
計	29,708,902	10,293,356	40,002,258
セグメント利益	4,640,061	1,983,777	6,623,839

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

利 益	金 額 (千円)
報告セグメント計	6,623,839
セグメント間取引消去	78,370
四半期連結損益計算書の営業利益	6,702,209

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(株式取得による持分法適用会社化について)

当社は、2022年9月30日開催の取締役会において、グローバルセキュリティエキスパート株式会社の株式を、株式会社ビジネスブレイン太田昭和より追加取得することを決議し、2022年10月3日に株式を取得いたしました。本株式取得に伴い、グローバルセキュリティエキスパート株式会社は当社の持分法適用会社となりました。

1. 株式取得の理由

当社とグローバルセキュリティエキスパート株式会社は2017年8月に情報セキュリティ分野における資本業務提携を行い、相互のセキュリティ戦略における重要なパートナー企業として、資本業務提携以来、緊密に連携しながら様々な取り組みを行ってまいりました。昨今、社会のデジタル化に伴い、ICTの在り方は急速に変化しており、当社ビジネスにおいても既存S I e rに加えて新たに参入する競合先との競争激化の兆しが見え始めています。このような状況下、お客様のビジネス変革いわゆるDXに伴走する戦略的パートナーとしての地位の確立や、クラウドからエンドポイントに至るまでのサービスビジネスの競争力強化など、当社グループとしての持続的成長への課題解決に向け、グローバルセキュリティエキスパート株式会社との更なる企業間連携の強化とリソース共有化等によるシナジー創出が不可欠と判断し、このたび株式を追加取得し、グローバルセキュリティエキスパート株式会社を持分法適用会社といたしました。

2. 持分法適用会社となる会社の概要

(1)名称	グローバルセキュリティエキスパート株式会社
(2)事業内容	サイバーセキュリティ関連事業
(3)資本金の額	485 百万円

3. 取得方法

株式会社ビジネスブレイン太田昭和との市場外での相対取引による株式の取得

4. 取得株式数、取得価額および取得前後の所有株式数の状況

(1)異動前の所有株式数	300,000 株(議決権所有割合：9.01%)
(2)取得株式数	469,000 株
(3)取得価額	2,324 百万円
(4)異動後の所有株式数	769,000 株(議決権所有割合：23.11%)

5. 支払資金の調達方法および支払方法

自己資金により充当しております。